



観光統計

宿泊旅行統計調査

平成28年1月29日
観光庁

(平成27年11月・第2次速報、平成27年12月・第1次速報)

1. 延べ宿泊者数

- 平成27年11月の延べ宿泊者数(全体)は、4,148万人泊(前年同月比+2.0%)と、11月としては平成19年の調査開始以来、最高となった。また、平成27年12月の延べ宿泊者数(全体)は4,162万人泊で、前年同月比+9.4%と大きな伸びを示した。
- 日本人延べ宿泊者数は、平成27年11月は昨年より休日が1日少なかったことや3連休が1回のみ(昨年は2回)であったことにより、前年同月比-1.9%であった。平成27年12月は前年同月比+4.4%であった。
- 外国人延べ宿泊者数は、訪日外国人旅行者数の増加を受け、11月は前年同月比が+38.6%となった。また、12月は+50.8%と大幅に伸びた。

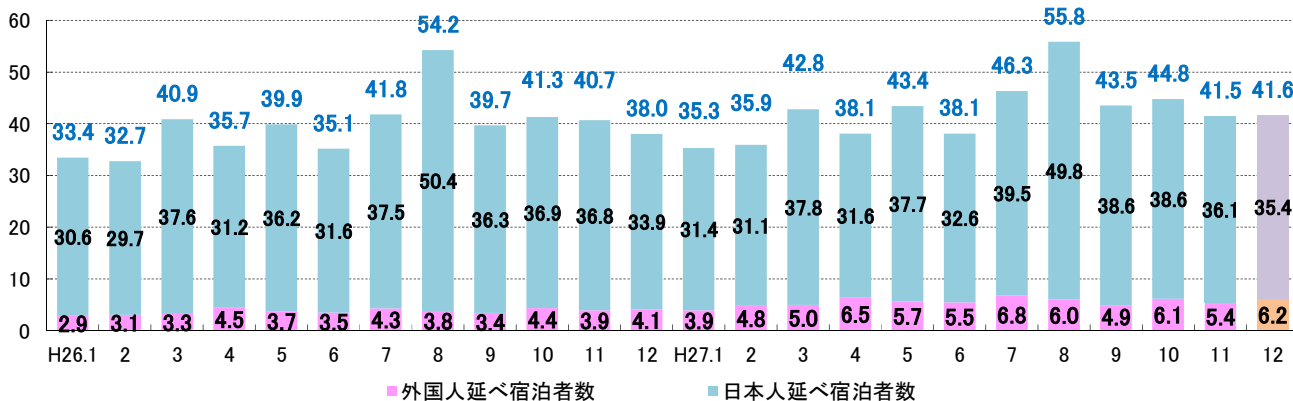
(万人泊)

	全体	日本人	外国人
H27.11	4,148	3,605	543
(前年同月比)	+2.0%	-1.9%	+38.6%
H27.12(※)	4,162	3,540	622
(前年同月比)	+9.4%	+4.4%	+50.8%

※平成27年12月の数値は第1次速報値であり、2月29日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

延べ宿泊者数推移

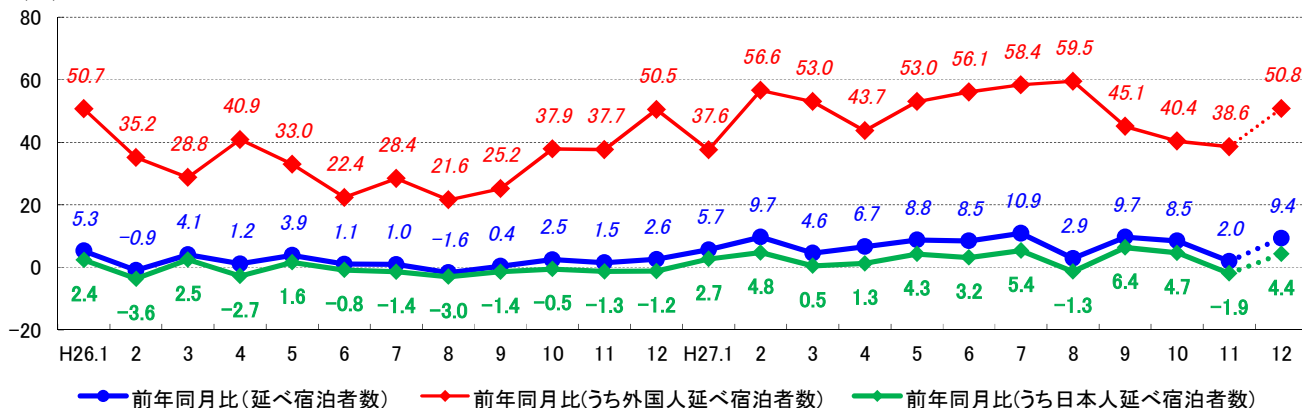
(百万人泊)



※上表の青字にした数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

延べ宿泊者数前年同月比の推移

(%)



2. 客室稼働率

- 平成27年11月の客室稼働率は全体で62.1%であった。リゾートホテル(57.5%)は、11月としては平成22年の調査開始以来、最高となったが、シティホテルは、前年同月に比して0.2%減の82.1%、ビジネスホテルは、同じく0.1%減の77.2%と微減となった(ただし、これは総客室数の増加によるものであり、利用客室数は減少していない)。また、平成27年12月の客室稼働率は全体で57.7%であった。
- 平成27年11月に客室稼働率が80%を超えた都道府県は、シティホテル19箇所(平成26年11月:19箇所)、ビジネスホテル11箇所(同:12箇所)及びリゾートホテル3箇所(同:3箇所)であり、前年同月とほぼ同数であったが、京都府では、シティホテル94.1%、ビジネスホテル90.3%、大阪府ではリゾートホテル91.9%となるなど、極めて高い客室稼働率が続いている。

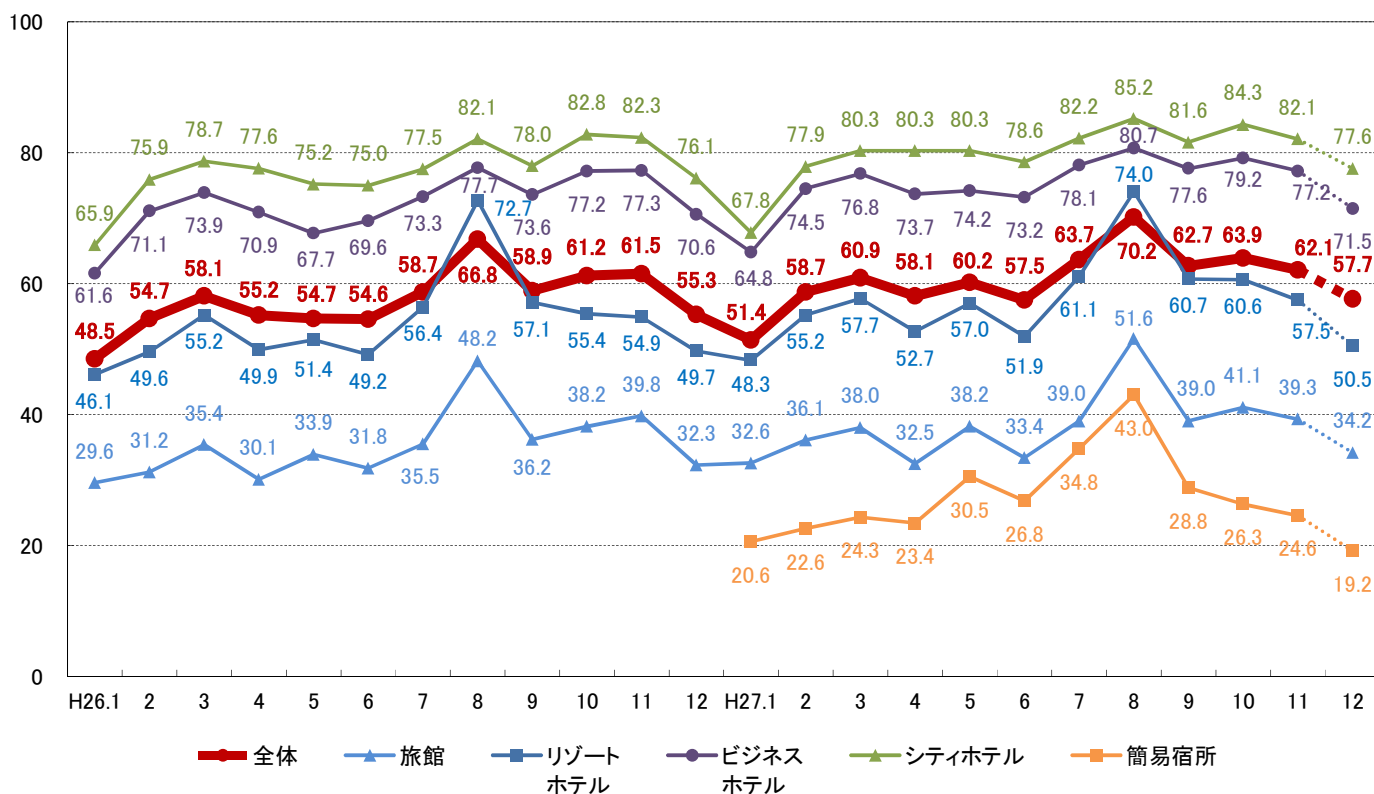
(%)

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
H27.11	62.1	39.3	57.5	77.2	82.1	24.6
H27.12(※)	57.7	34.2	50.5	71.5	77.6	19.2

※平成27年12月の数値は第1次速報値であり、2月29日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

一施設タイプ別客室稼働率の推移

(%)



一都道府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(平成27年11月(第2次速報))一

(左、単位:%、右:宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	全体		旅館		リゾート ホテル		ビジネス ホテル		シティ ホテル		簡易宿所	
全国	62.1	-	39.3	-	57.5	-	77.2	-	82.1	-	24.6	-
北海道	54.4	30	40.0	26	31.6	42	68.0	40	68.6	41	19.3	16
青森県	50.2	39	39.0	29	20.0	47	64.5	46	61.8	47	10.0	37
岩手県	56.0	27	43.3	18	42.7	36	75.1	21	70.4	37	17.3	22
宮城県	63.7	15	50.8	8	46.4	32	75.0	22	70.7	35	35.1	8
秋田県	44.0	45	31.9	40	29.9	43	62.1	47	71.4	34	17.0	23
山形県	48.2	42	35.0	34	22.4	45	65.8	44	71.5	32	7.3	40
福島県	55.9	28	41.2	22	41.9	37	83.3	7	77.6	24	5.4	42
茨城県	53.6	32	24.2	43	43.5	35	67.6	42	70.7	35	4.3	46
栃木県	50.8	36	46.4	14	56.1	24	69.3	36	65.8	43	11.1	36
群馬県	53.5	33	49.3	10	39.3	39	75.2	20	76.5	25	4.5	45
埼玉県	68.6	10	23.7	44	34.6	40	79.1	13	83.9	13	11.2	35
千葉県	68.9	9	32.9	39	85.1	2	71.3	32	80.1	19	15.0	28
東京都	83.3	2	61.0	1	75.3	7	87.2	4	86.3	6	62.1	1
神奈川県	70.5	7	51.7	7	65.5	17	82.2	9	86.1	7	39.6	7
新潟県	42.9	46	24.4	42	22.1	46	67.4	43	69.2	38	19.4	15
富山県	53.5	33	39.9	27	45.7	34	74.5	23	74.4	27	13.0	32
石川県	75.2	4	59.2	3	65.1	18	89.2	2	88.0	3	39.9	6
福井県	49.0	41	37.6	31	40.5	38	76.2	18	63.0	46	4.7	43
山梨県	48.2	42	37.8	30	62.5	20	72.5	27	66.6	42	14.6	30
長野県	31.4	47	20.3	46	28.2	44	71.6	30	74.1	29	6.2	41
岐阜県	50.7	37	40.3	25	51.3	30	77.0	16	79.5	20	11.8	34
静岡県	55.6	29	42.2	21	53.8	26	71.3	32	78.1	22	14.4	31
愛知県	73.9	5	33.7	37	66.0	15	82.1	10	85.6	10	40.4	5
三重県	54.2	31	30.4	41	60.3	22	67.9	41	82.5	15	3.2	47
滋賀県	65.9	12	41.0	23	76.8	6	82.1	10	82.5	15	20.0	14
京都府	79.2	3	60.1	2	66.5	14	90.3	1	94.1	1	48.6	3
大阪府	85.9	1	52.1	6	91.9	1	88.2	3	89.2	2	53.3	2
兵庫県	64.8	13	42.8	19	64.2	19	86.7	5	81.9	17	18.1	20
奈良県	50.7	37	40.6	24	80.5	3	76.4	17	85.9	9	18.4	18
和歌山県	49.4	40	47.0	13	52.1	29	65.6	45	73.4	30	12.5	33
鳥取県	57.4	25	45.2	15	32.0	41	82.3	8	84.7	12	7.5	39
島根県	61.5	20	47.3	12	46.0	33	77.6	14	85.6	10	21.7	12
岡山県	59.4	23	34.4	35	54.1	25	72.2	28	72.6	31	18.0	21
広島県	69.3	8	39.3	28	72.2	10	84.2	6	87.0	5	21.0	13
山口県	61.8	19	45.2	15	62.1	21	69.2	37	71.5	32	43.8	4
徳島県	46.3	44	21.4	45	56.3	23	70.1	35	64.1	45	4.7	43
香川県	63.3	17	37.2	32	72.0	11	71.7	29	69.1	39	28.0	10
愛媛県	59.6	22	58.3	4	52.2	28	70.8	34	78.0	23	16.2	24
高知県	52.9	35	34.3	36	53.1	27	68.6	39	83.4	14	15.9	25
福岡県	73.8	6	33.7	37	77.0	5	79.4	12	87.9	4	22.8	11
佐賀県	63.5	16	54.9	5	77.7	4	73.0	26	68.9	40	8.4	38
長崎県	64.8	13	49.2	11	69.4	12	77.5	15	86.1	7	18.4	18
熊本県	62.0	18	49.6	9	65.6	16	75.7	19	78.2	21	14.8	29
大分県	58.4	24	42.5	20	68.0	13	73.7	24	75.2	26	15.6	26
宮崎県	60.7	21	35.7	33	73.2	9	71.4	31	65.0	44	19.0	17
鹿児島県	56.8	26	43.6	17	47.1	31	69.1	38	74.4	27	15.2	27
沖縄県	66.2	11	14.1	47	75.3	7	73.7	24	81.3	18	32.5	9

※宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。
また、客室稼働率が80%を超えている都道府県は青色、90%を超えている都道府県は黄色で示している。

注1)平成27年11月(第2次速報)は、平成27年11月分の宿泊旅行統計調査について、1月18日までに回収された有効な調査票(有効回収率:58.0%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、平成27年12月25日公表の「宿泊旅行統計調査(平成27年11月・第1次速報)」と異なっている点にご留意いただきたい。

注2)平成27年12月(第1次速報)は、平成27年12月分の宿泊旅行統計調査について、1月18日までに回収された有効な調査票(有効回収率:25.3%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、2月29日公表予定の「宿泊旅行統計調査(平成27年12月・第2次速報)」で変更となる点にご留意いただきたい。

注3)前年同月比は、確定値との比較である。

※参考:平成27年11月・第1次速報公表時の有効回収率:28.2%

問い合わせ先

観光庁観光戦略課調査室 佐藤、青柳

TEL 03-5253-8111(内線 27-214、27-217)

03-5253-8325(直通)

FAX 03-5253-1563

<参考>延べ宿泊者数・客室稼働率推移表

○延べ宿泊者数推移表

(単位:人泊、%)

	延べ宿泊者数	うち日本人延べ宿泊者数		うち外国人延べ宿泊者数			
		前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比		
平成19年	309,381,780	—	286,727,440	—	22,654,340	—	
平成20年	309,698,710	0.1%	287,450,410	0.3%	22,248,300	-1.8%	
平成21年	301,303,940	-2.7%	283,006,170	-1.5%	18,297,770	-17.8%	
平成22年	413,048,930	15.8%	385,539,960	14.1%	27,508,970	42.2%	
平成23年	417,234,450	-2.7%	398,818,760	-0.1%	18,415,690	-34.6%	
平成24年	439,495,120	5.3%	413,180,780	3.6%	26,314,340	42.9%	
平成25年	465,893,370	6.0%	432,397,640	4.7%	33,495,730	27.3%	
平成26年	473,501,950	1.6%	428,677,350	-0.9%	44,824,600	33.8%	
平成26年	1月	33,447,100	5.3%	30,592,410	2.4%	2,854,690	50.7%
	2月	32,747,070	-0.9%	29,667,520	-3.6%	3,079,550	35.2%
	3月	40,897,640	4.1%	37,647,000	2.5%	3,250,640	28.8%
	4月	35,705,590	1.2%	31,187,810	-2.7%	4,517,780	40.9%
	5月	39,901,790	3.9%	36,192,860	1.6%	3,708,930	33.0%
	6月	35,142,960	1.1%	31,625,950	-0.8%	3,517,010	22.4%
	7月	41,773,170	1.0%	37,467,770	-1.4%	4,305,400	28.4%
	8月	54,229,010	-1.6%	50,446,150	-3.0%	3,782,860	21.6%
	9月	39,663,260	0.4%	36,266,080	-1.4%	3,397,180	25.2%
	10月	41,271,550	2.5%	36,898,450	-0.5%	4,373,100	37.9%
	11月	40,678,140	1.5%	36,762,950	-1.3%	3,915,190	37.7%
	12月	38,044,680	2.6%	33,922,410	-1.2%	4,122,270	50.5%
平成27年	1月	35,346,220	5.7%	31,418,270	2.7%	3,927,950	37.6%
	2月	35,925,240	9.7%	31,102,740	4.8%	4,822,500	56.6%
	3月	42,793,090	4.6%	37,819,660	0.5%	4,973,430	53.0%
	4月	38,094,770	6.7%	31,603,880	1.3%	6,490,890	43.7%
	5月	43,412,270	8.8%	37,737,440	4.3%	5,674,830	53.0%
	6月	38,134,140	8.5%	32,643,450	3.2%	5,490,690	56.1%
	7月	46,322,910	10.9%	39,502,570	5.4%	6,820,340	58.4%
	8月	55,826,830	2.9%	49,792,720	-1.3%	6,034,110	59.5%
	9月	43,506,270	9.7%	38,578,020	6.4%	4,928,250	45.1%
	10月	44,774,960	8.5%	38,633,340	4.7%	6,141,620	40.4%
	11月	41,482,050	2.0%	36,054,440	-1.9%	5,427,610	38.6%
	12月	41,619,150	9.4%	35,403,990	4.4%	6,215,160	50.8%

※ 平成22年4月～6月期調査より、調査対象を従業者数9人以下の宿泊施設に拡充している。

この点を踏まえ、平成20年～平成23年における前年比は、従業者数10人以上の宿泊施設の実績をもとに算出している。

※ 1)平成19年～平成26年の数値は確定値、2)平成27年1月～11月の数値は第2次速報値、3)平成27年12月の数値は第1次速報値である。

○宿泊施設タイプ別客室稼働率推移表

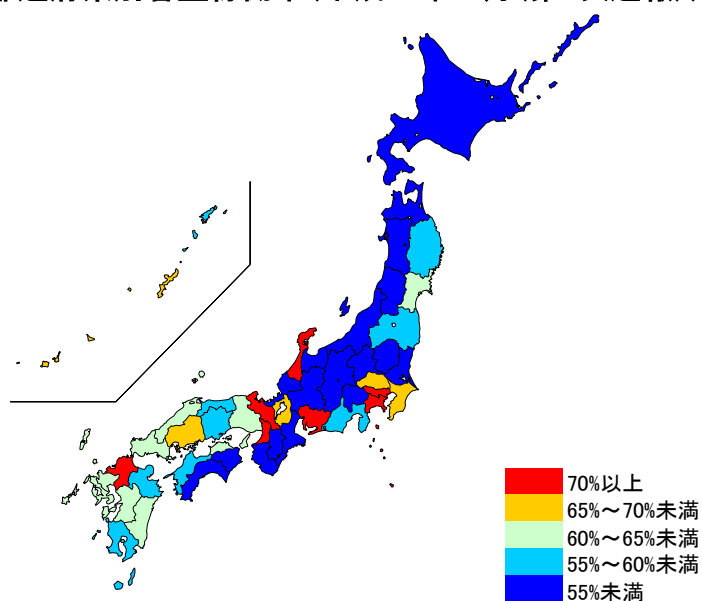
(単位:%)

		全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティホテル	簡易宿所	
平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年	1)						—	
		59.7	49.4	53.3	67.2	71.1	—	
		64.0	52.9	52.6	68.3	75.7	—	
		51.8	34.7	46.8	62.3	67.1	—	
		54.8	35.5	48.0	67.3	72.5	—	
		55.2	33.4	52.3	69.5	75.7	—	
		57.4	35.2	54.0	72.1	77.3	—	
平成26年	1)	1月	48.5	29.6	46.1	61.6	65.9	—
		2月	54.7	31.2	49.6	71.1	75.9	—
		3月	58.1	35.4	55.2	73.9	78.7	—
		4月	55.2	30.1	49.9	70.9	77.6	—
		5月	54.7	33.9	51.4	67.7	75.2	—
		6月	54.6	31.8	49.2	69.6	75.0	—
		7月	58.7	35.5	56.4	73.3	77.5	—
		8月	66.8	48.2	72.7	77.7	82.1	—
		9月	58.9	36.2	57.1	73.6	78.0	—
		10月	61.2	38.2	55.4	77.2	82.8	—
		11月	61.5	39.8	54.9	77.3	82.3	—
		12月	55.3	32.3	49.7	70.6	76.1	—
平成27年	2)	1月	51.4	32.6	48.3	64.8	67.8	20.6
		2月	58.7	36.1	55.2	74.5	77.9	22.6
		3月	60.9	38.0	57.7	76.8	80.3	24.3
		4月	58.1	32.5	52.7	73.7	80.3	23.4
		5月	60.2	38.2	57.0	74.2	80.3	30.5
		6月	57.5	33.4	51.9	73.2	78.6	26.8
		7月	63.7	39.0	61.1	78.1	82.2	34.8
		8月	70.2	51.6	74.0	80.7	85.2	43.0
		9月	62.7	39.0	60.7	77.6	81.6	28.8
		10月	63.9	41.1	60.6	79.2	84.3	26.3
		11月	62.1	39.3	57.5	77.2	82.1	24.6
		12月	57.7	34.2	50.5	71.5	77.6	19.2

※ 平成22年4月～6月期調査より、調査対象を従業者数9人以下の宿泊施設に拡充している。

※ 1) 平成19年～平成26年の数値は確定値、2) 平成27年1月～11月の数値は第2次速報値、3) 平成27年12月の数値は第1次速報値である。

—都道府県別客室稼働率(平成27年11月(第2次速報))—



～調査結果概要～

- 平成27年11月の延べ宿泊者数は、4,148万人泊(前年同月比+2.0%)で、うち外国人延べ宿泊者数は543万人泊(前年同月比+38.6%)。延べ宿泊者全体に占める外国人宿泊者の割合は13.1%。
- 都道府県別延べ宿泊者数上位5都道府県は、前年同月と同一である。

1. 都道府県別延べ宿泊者数(全体)

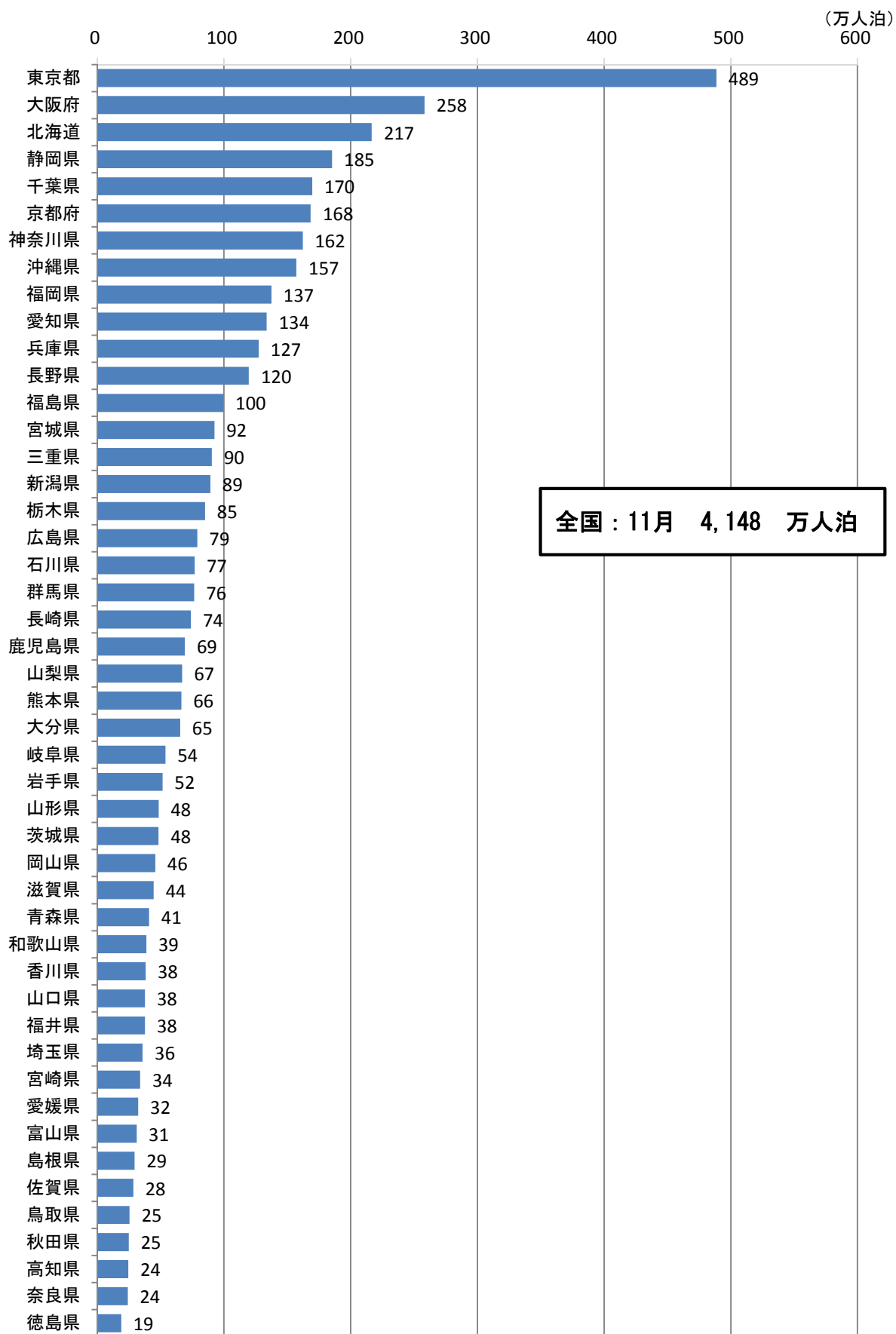
①都道府県別延べ宿泊者数(全体)(平成27年11月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	41,482,050	2.0%
北海道	2,166,160	1.7%
青森県	409,120	17.4%
岩手県	515,240	7.7%
宮城県	924,190	3.7%
秋田県	248,140	-20.8%
山形県	483,710	5.2%
福島県	995,290	0.9%
茨城県	483,350	8.3%
栃木県	850,040	-3.8%
群馬県	764,630	-2.2%
埼玉県	357,580	-1.8%
千葉県	1,696,590	-2.9%
東京都	4,885,540	6.6%
神奈川県	1,621,940	-4.3%
新潟県	892,050	20.3%
富山県	311,460	-0.9%
石川県	769,070	8.6%
福井県	375,650	9.2%
山梨県	669,560	11.3%
長野県	1,196,220	4.1%
岐阜県	537,610	-1.5%
静岡県	1,851,930	-0.4%
愛知県	1,337,090	-0.6%
三重県	904,700	13.3%
滋賀県	443,720	3.1%
京都府	1,683,900	-0.5%
大阪府	2,582,320	2.7%
兵庫県	1,272,620	3.5%
奈良県	240,730	13.2%
和歌山県	387,450	-0.8%
鳥取県	254,330	-14.3%
島根県	294,160	-5.2%
岡山県	458,530	-12.7%
広島県	789,690	3.2%
山口県	376,390	-12.8%
徳島県	189,600	-27.2%
香川県	381,000	10.8%
愛媛県	323,100	-0.5%
高知県	243,940	-1.6%
福岡県	1,373,840	-3.1%
佐賀県	284,170	0.3%
長崎県	738,010	4.5%
熊本県	663,360	2.5%
大分県	654,680	12.3%
宮崎県	338,770	11.8%
鹿児島県	689,540	-3.1%
沖縄県	1,571,340	2.5%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別延べ宿泊者数(全体) (平成27年11月(第2次速報))



2. 外国人延べ宿泊者数

(1)都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は、543万人泊で、11月としては、調査開始以来の最高値。調査を開始した平成19年における同時期と比較すると約2.5倍(※1)となっている。

○三大都市圏と地方部(※2)で外国人延べ宿泊者数の対前年同月比を比較すると、三大都市圏で+29.7%、地方部で+55.5%と、地方部の伸びが三大都市圏の伸びを上回っている。

○都道府県別外国人延べ宿泊者数上位3都道府県は、前年同月と同一である。

※1)平成19年11月:205万人泊、平成27年11月:499万人泊。なお、平成19年は従業者数10名以上の施設のみ調査対象としていたため、平成27年11月との比較においては、従業者数10名以上の施設で行っている。

※2)三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

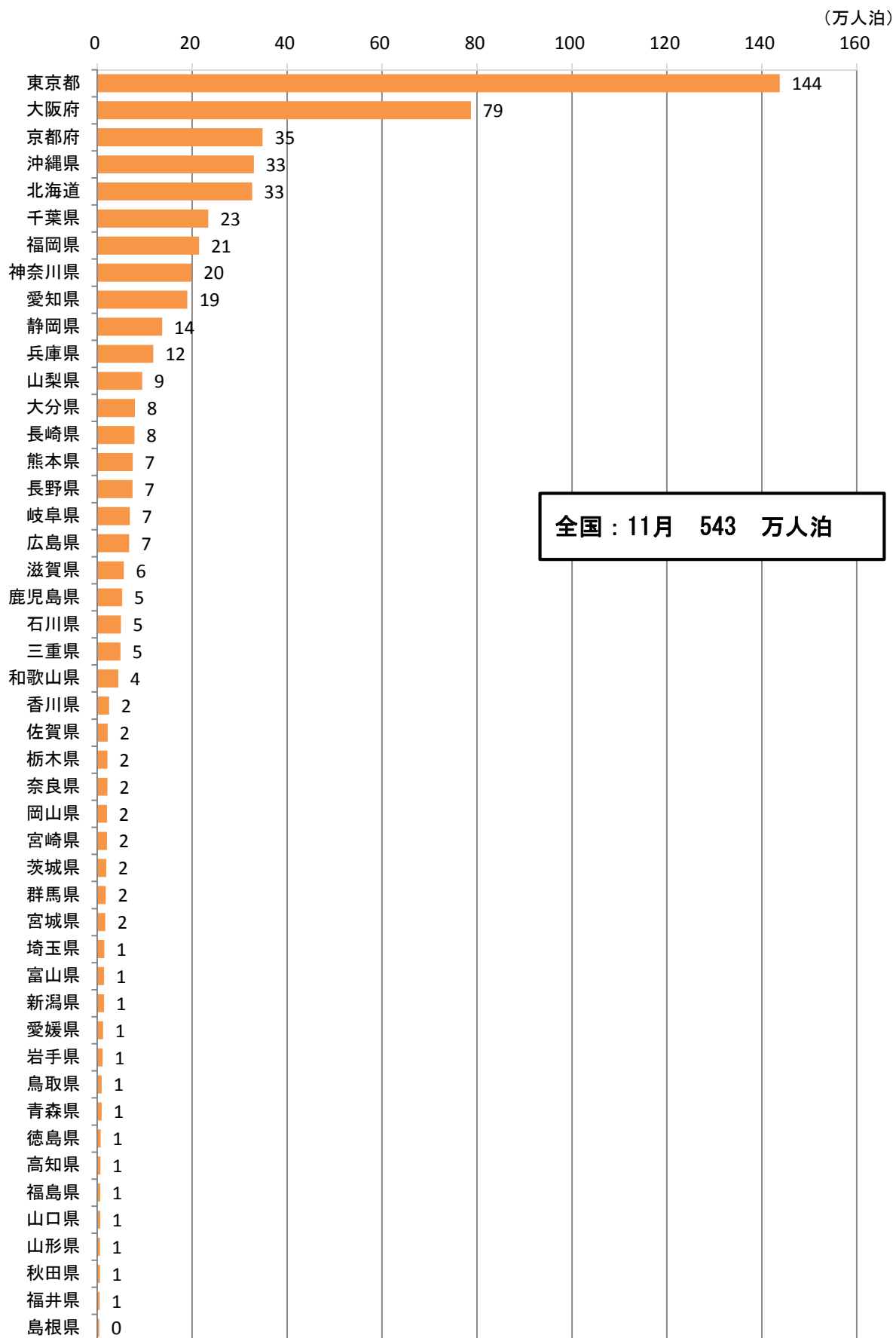
①都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成27年11月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

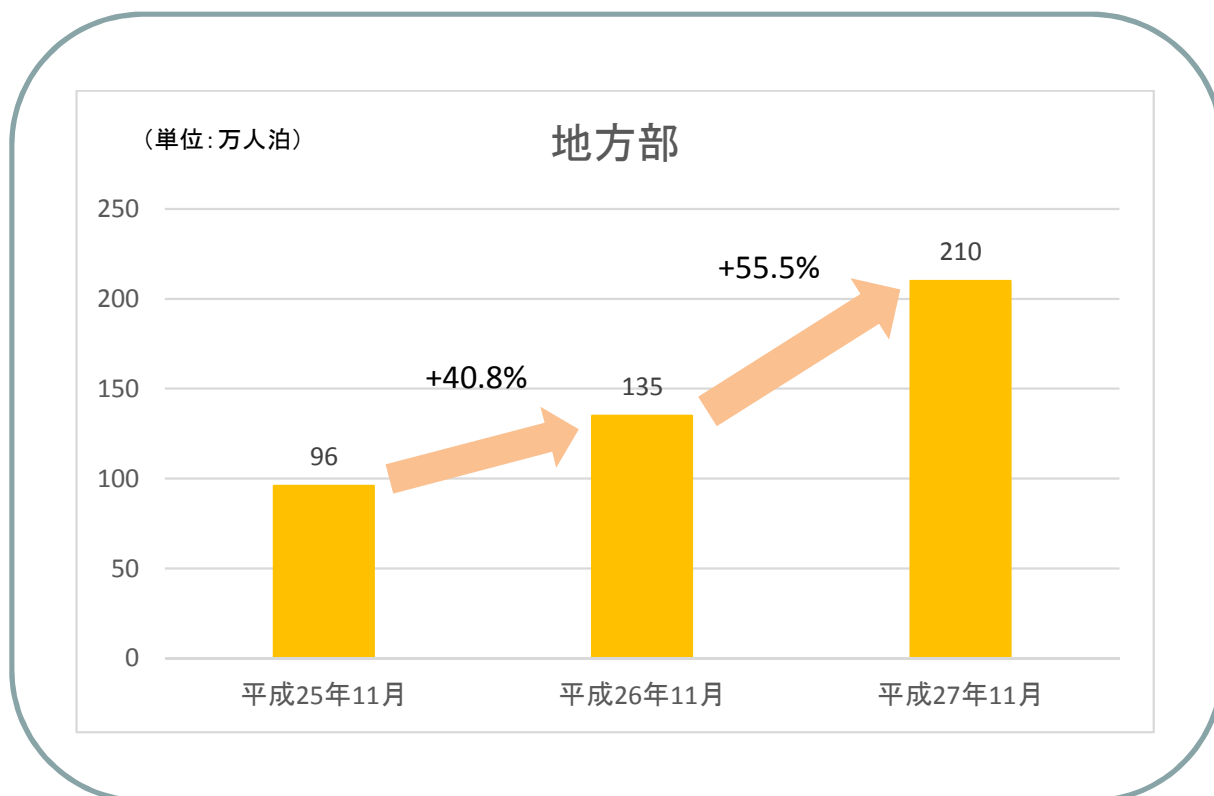
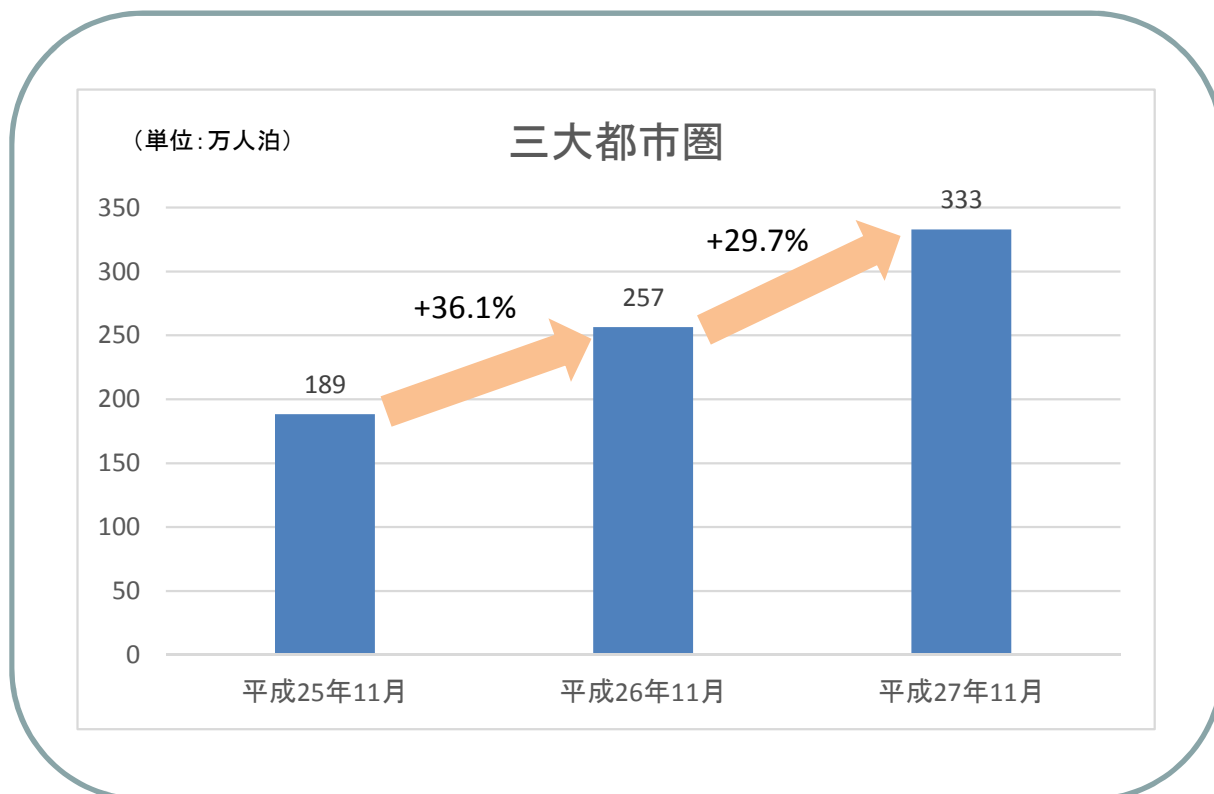
施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	5,427,610	38.6%
北海道	326,310	36.0%
青森県	9,190	25.9%
岩手県	11,190	38.7%
宮城県	17,070	20.5%
秋田県	5,650	40.5%
山形県	5,810	76.1%
福島県	6,460	20.1%
茨城県	19,140	92.6%
栃木県	21,340	7.8%
群馬県	17,840	34.7%
埼玉県	14,970	56.1%
千葉県	233,750	10.0%
東京都	1,437,440	24.2%
神奈川県	198,810	59.0%
新潟県	14,310	35.1%
富山県	14,430	2.2%
石川県	50,050	78.8%
福井県	5,090	85.1%
山梨県	94,770	12.5%
長野県	74,150	112.0%
岐阜県	68,740	12.0%
静岡県	136,990	84.4%
愛知県	189,890	22.2%
三重県	48,850	128.2%
滋賀県	55,950	109.2%
京都府	348,480	29.3%
大阪府	787,300	39.6%
兵庫県	118,110	63.2%
奈良県	21,250	94.2%
和歌山県	44,430	33.1%
鳥取県	9,220	91.3%
島根県	4,390	48.3%
岡山県	20,420	57.6%
広島県	67,270	89.5%
山口県	6,220	22.9%
徳島県	7,040	48.2%
香川県	24,960	39.2%
愛媛県	12,520	52.1%
高知県	6,830	12.9%
福岡県	214,390	55.8%
佐賀県	21,800	120.6%
長崎県	78,380	63.5%
熊本県	74,720	51.9%
大分県	79,260	91.9%
宮崎県	20,260	17.8%
鹿児島県	52,380	75.9%
沖縄県	329,850	73.1%

※前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成27年11月(第2次速報))



③三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

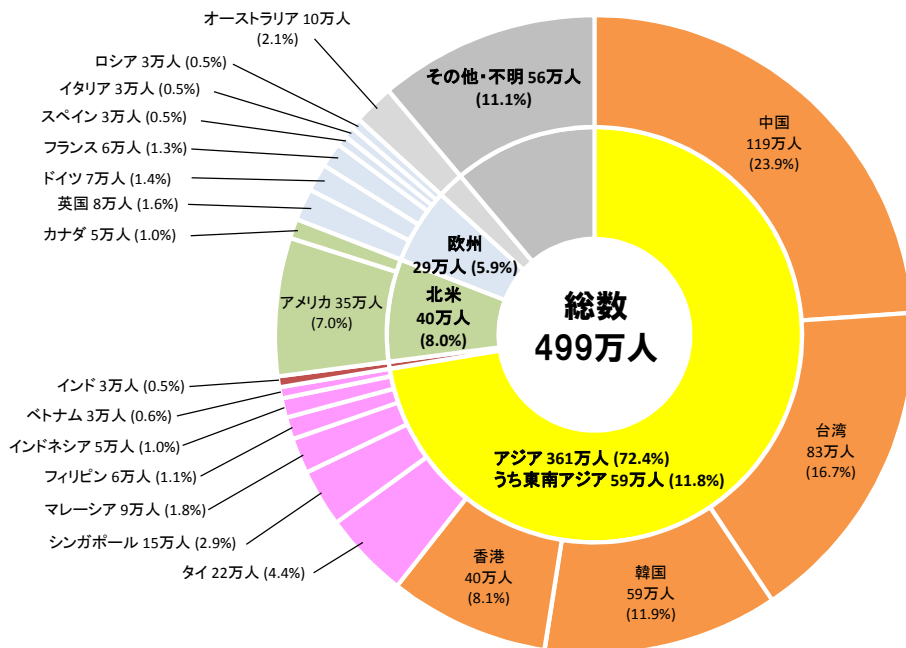


(2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

○平成27年11月の国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が台湾、第3位が韓国、第4位が香港、第5位がアメリカで、上位5カ国・地域で全体の60%以上を占める。

○伸び率で見ると、フィリピン(前年同月比+83.2%)、中国(同+65.4%)、韓国(同+57.3%)等が、大幅に拡大した。

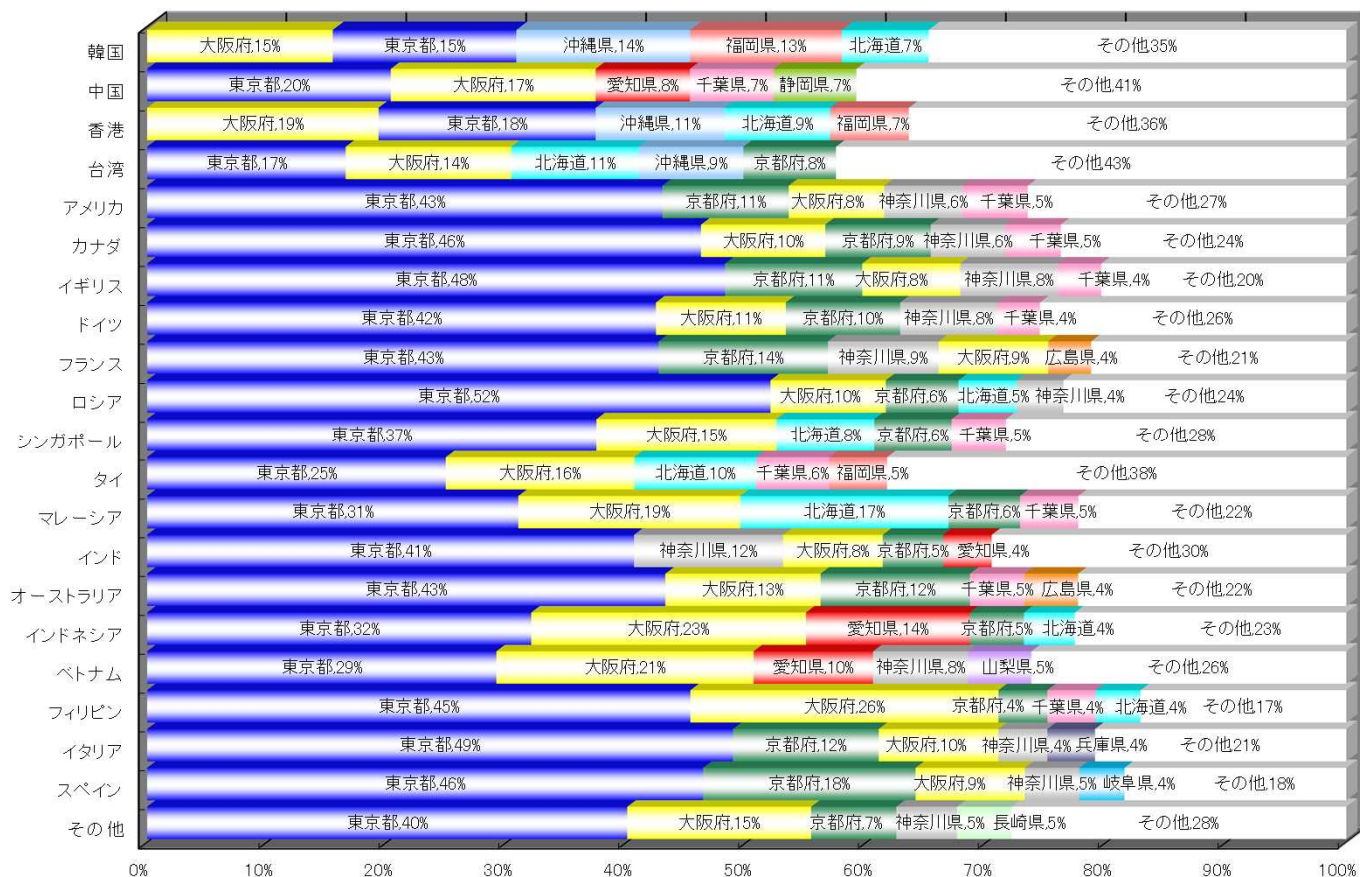
③国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(平成27年11月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		前年同月比
		(万人泊)	シェア	
第1位	中国	1,193,020	23.9%	65.4%
第2位	台湾	833,620	16.7%	23.2%
第3位	韓国	593,990	11.9%	57.3%
第4位	香港	403,600	8.1%	45.2%
第5位	アメリカ	348,810	7.0%	33.0%
第6位	タイ	219,300	4.4%	9.4%
第7位	シンガポール	145,150	2.9%	31.6%
第8位	オーストラリア	103,480	2.1%	31.9%
第9位	マレーシア	90,390	1.8%	34.2%
第10位	英国	80,410	1.6%	26.2%
第11位	ドイツ	69,810	1.4%	39.3%
第12位	フランス	62,600	1.3%	27.3%
第13位	フィリピン	55,870	1.1%	83.2%
第14位	カナダ	49,340	1.0%	41.3%
第15位	インドネシア	48,580	1.0%	5.4%
第16位	ベトナム	28,710	0.6%	19.6%
第17位	イタリア	27,390	0.5%	-
第18位	インド	27,190	0.5%	21.9%
第19位	スペイン	27,030	0.5%	-
第20位	ロシア	26,590	0.5%	-8.3%
	その他	470,800	9.4%	19.9%
	合計	4,991,290	100.0%	36.8%

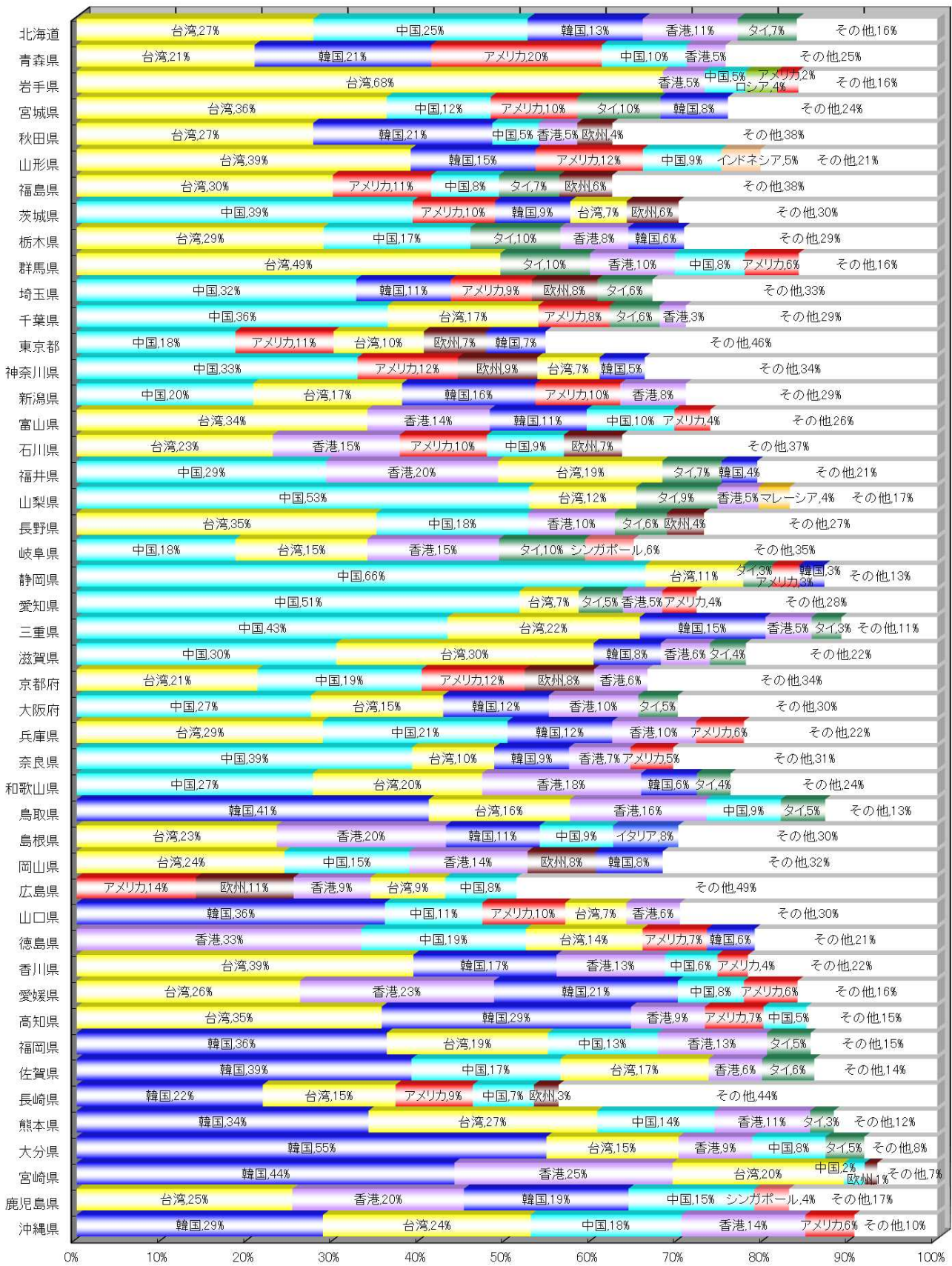
- ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
- ※ 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の調査において、以下のとおり調査対象国を追加している。
 - ・平成25年第1四半期調査よりインドネシア
 - ・平成25年第2四半期調査よりベトナム、フィリピン
 - ・平成27年4月分調査よりイタリア、スペイン
- ※ 前年同月比は、確定値との比較である。

④国籍(出身地)別、都道府県別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5都道府県)
(平成27年11月(第2次速報))



※従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

⑤都道府県別、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5国籍)
(平成27年11月(第2次速報))



※ 欧州はドイツ・英国・フランスの3カ国
※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

宿泊旅行統計調査の概要

1. 調査対象期間	毎月(1ヶ月間)
2. 調査施設	全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの 全宿泊施設 : 49,984施設
	調査施設数 :
	・平成27年11月(第2次速報) 17,265施設
	従業者数10名以上 10,117施設
	従業者数10名未満 7,148施設
	・平成27年12月(第1次速報) 17,265施設
	従業者数10名以上 10,117施設
	従業者数10名未満 7,148施設
	有効回収率:
	・平成27年11月(第2次速報) 58.0%(全体)
	従業者数10名以上 69.1%
	従業者数10名未満 42.4%
	・平成27年12月(第1次速報) 25.3%(全体)
	従業者数10名以上 31.1%
	従業者数10名未満 17.1%

宿泊旅行統計調査の活用における留意点

○当資料の数値は暫定値であるため、確定値において数値が変更します。

○平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となり、その際に母集団数に差異が生じております。調査結果をご活用の際は以下の点にご留意下さい。

● 母集団施設数について

- ・平成21年(確定値)第1四半期:従業者数10人以上の施設(約1万施設)
- ・平成22年(確定値)第1四半期以降:従業者数10人以上の施設(約1.2万施設)

※従業者数10人以上の施設でも、平成21年確定値と平成22年確定値の母集団数には差があります。比較する際には、第1表をご確認頂く等、ご注意下さい。

調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設

平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果

全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査

(1) 調査対象施設

統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果

全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

● 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

<宿泊旅行統計調査>の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

観光庁

統計情報・白書

統計情報

宿泊旅行統計調査

(宿泊旅行統計ホームページ)

平成27年度の「旅行・観光消費動向調査」「宿泊旅行統計調査」「訪日外国人消費動向調査」の公表予定日は以下の通りです。

【平成27年】

調査名		対象期間	公表日程		
旅行・観光消費動向調査 (翌々月末)	速報	平成27年1-3月分	済		
	速報	" 4-6月分	済		
	速報	" 7-9月分	済		
	速報	" 10-12月分	平成28年2月 長官会見日		
	年次確報	平成27年分	" 6月末頃		
宿泊旅行統計調査 (1次:翌月末 2次:翌々月末)	1次	2次	平成27年1-3月分	済	済
	1次	2次	" 4月	済	済
	1次	2次	" 5月	済	済
	1次	2次	" 6月	済	済
	1次	2次	" 7月	済	済
	1次	2次	" 8月	済	済
	1次	2次	" 9月	済	済
	1次	2次	" 10月	済	済
	1次	2次	" 11月	済	済
	1次	2次	" 12月	済	平成28年2月29日
	年次速報		平成27年分	平成28年2月29日	
	年次確報		"	" 6月30日	
訪日外国人消費動向 調査(翌月末)	速報	平成27年1-3月分	済		
	速報	" 4-6月分	済		
	速報	" 7-9月分	済		
	速報	" 10-12月分	平成28年1月 長官会見日		
	年次速報	平成27年分	"		
	年次確報	"	平成28年3月末頃		